

# 香 矢 紗 司 庄

ヴァイオリン

フォルテピアノとガット弦による  
モーツァルト、ベートーヴェン

7年ぶりのデュオが切り拓く  
新たな世界への飛翔

フォルテピアノ

## ジャンルカ・カシオーリ

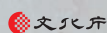
Sayaka Shoji (Violin) & Gianluca Cascioli (Fortepiano)  
Duo Recital

## デュオ・リサイタル

2022. **12/11** (日) 14:00開演  
13:15開場/16:00終演予定

横浜みなとみらいホール

東横線=みなとみらい線「みなとみらい駅」徒歩3分  
2:00p.m., Sunday, December 11, 2022  
at Yokohama Minato Mirai Hall  
文化庁 子供文化芸術活動支援事業



W.A.モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ 第34番 変ロ長調 K.378 (317d)  
W.A.Mozart: Violin Sonata No.34 in B-flat Major K.378 (317d)

L.v.ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第5番 へ長調 Op.24 「春」  
L.v.Beethoven: Violin Sonata No.5 in F Major Op.24 "Spring"

C.P.E.バッハ：ファンタジア Wq.80 (H.536)  
C.P.E.Bach: Fantasia Wq.80 (H.536)

W.A.モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ 第42番 イ長調 K.526  
W.A.Mozart: Violin Sonata No.42 in A Major K.526

**12/16** (金) 19:00開演  
18:20開場/21:00終演予定

サントリーホール

東京メトロ「溜池山王駅」13番出口徒歩10分  
東京メトロ「六本木一丁目駅」3番出口徒歩5分  
7:00p.m., Friday, December 16, 2022 at Suntory Hall

W.A.モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ 第28番 ホ短調 K.304 (300c)  
W.A.Mozart: Violin Sonata No.28 in E Minor K.304 (300c)

W.A.モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ 第35番 ト長調 K.379 (373a)  
W.A.Mozart: Violin Sonata No.35 in G Major K.379 (373a)

C.P.E.バッハ：ファンタジア Wq.80 (H.536)  
C.P.E.Bach: Fantasia Wq.80 (H.536)

L.v.ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調 Op.47 「クロイツェル」  
L.v.Beethoven: Violin Sonata No.9 in A Major Op.47 "Kreutzer"

SY¥8,500 A¥7,500 B¥6,500 C¥5,500 学生¥3,000 (A席相当)

※料金には消費税が含まれております。※特別割引につきましては裏面をご覧ください。※先行販売で満席となった席種は、以降販売されません。

**9/24(土)10:00前売開始** ジャパン・アーツぴあオンラインチケット 9/17(土)

お申込み  
ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp  
神奈川芸術協会 045-453-5080 kanagawa-geikyo.com (12/11のみ)  
横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000 minatomirai.pia.jp (12/11のみ)  
サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 https://suntory.jp/HALL/ (12/16のみ)

チケットぴあ t.pia.jp  
[Pコード 東京225-244/横浜222-820]  
イープラス eplus.jp  
ローソンチケット l-tike.com  
[Lコード 東京31409/横浜35244]

主催：公益財団法人ジェスク音楽文化振興会(東京) / 神奈川芸術協会(横浜) マネジメント：ジャパン・アーツ(東京)  
協力：横浜みなとみらいホール(横浜) / ユニバーサル ミュージック

# 探求を経て実現する新境地への期待

音楽評論家 柴田克彦

庄司紗矢香は進化を止めない。7年ぶりとなるジャンルカ・カシオーリとの日本ツアーで披露するのは、「ガット弦とモーツァルト時代のクラシック弓を使用した」古典派の音楽。カシオーリもフォルテピアノを弾く。

“For the Music”に徹しながら、細心の彫琢とパッションを併せ持つ訴求力抜群の演奏を聴かせてきた庄司のこと。むろんこれは「古楽の流儀を取り入れてみた」といった安易な挑戦ではなく、「モーツァルト時代の音楽を表情豊かに、いま生まれるものとして伝えること」(庄司)を目指したがゆえの表現手段なのだ。そのベースには約20年前のケルン音大在学中に古楽専門の室内楽教師から学んだ演奏法がある。そして在宅時間が長かったコロナ禍の2年間、C.P.E.バッハやL.モーツァルト等々の文献をじっくりと研究し、同時代の音楽に相応しい演奏スタイルに確信を得た彼女は、まず今年5月にモーツァルトのソナタ集を録音(DGより今秋リリース予定)。次いで今回、初のライブの実現に至った。

東京・横浜公演の演目は、録音した3曲を含むモーツァルトのソナタとベートーヴェンの人気作が主体。モーツァルトはチャーミングかつ深みのある名品揃いで聴きどころは多いし、モダン仕様でカシオーリと録音&実演しているベートーヴェンは、本スタイルにおける変化を明瞭に示す演奏となる。庄司が著作に示唆を受けたC.P.E.バッハの作品の挿入も意味深い。また、各公演の1曲目に置かれたK.304とK.378は、モーツァルトの同ジャンルの中でも知られた作品なので導入に最適だし、共に基調が長調でありながら第1楽章の主部が短調で書かれたモーツァルトのK.379と「クワイツェル」をはじめ、陰影が際立つ作品が多く並んでいる点も目を引く。

庄司は、これまでのカシオーリとの共演で、“全音符がエスプレッシーヴォな(表情豊かな)”音楽を奏できてきた。新境地となる今回のスタイルで、いかなる深化を示すのか? そのステージに熱視線が注がれる。



庄司 紗矢香(ヴァイオリン)  
Sayaka Shoji, Violin

「絶大なスタミナと何事にもひるまない精神、希有な音楽家」とグラモフォン誌に評された庄司紗矢香は、ユーリ・テミルカーノフ、ズービン・メータ、ジャンアンドレア・ノセダ、マリス・ヤンソンス、パールヴォ・ヤルヴィなどの指揮者や、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団、マリンスキー劇場管弦楽団、NHK交響楽団、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団といった世界を代表するオーケストラと共演を重ねている。最近では、ヴァシリー・ペトレンコ指揮ロイヤル・フィルハーモニック管弦楽団とBBCプロムスデビュー、プロッサム音楽祭でクレーブランド管弦楽団とのデビュー。ヴィンセント・オラフソンと日本リサイタルツアー、ヴラディミール・アシュケナージ指揮フィルハーモニア管弦楽団との英国ツアー、エサセベッカ・サロネン指揮フィルハーモニア管との日本ツアー、ユーリ・テミルカーノフ指揮サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団などと共演。今後は、ジャンルカ・カシオーリとの日本リサイタルツアーや、ダンサーの勅使河原三郎とフィラルモニ・ド・パリでの共演が予定されている。また、サントゥ・マティアス・ロウヴァリ指揮フィルハーモニア管とイタリアと英国ツアーにも参加する。ジャンルカ・カシオーリとベートーヴェンのピアノとヴァイオリンのソナタ全集を録音しており、2022年秋に新しいアルバムがリリースされる。1999年にパガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールで最年少および日本人として初めて優勝。2010年芸術選奨新人賞、2016年毎日芸術賞を受賞。使用楽器は、上野製菓株式会社より貸与された1729年製ストラディヴァリウス“レカミエ(Recamier)”である。



ジャンルカ・カシオーリ(フォルテピアノ)  
Gianluca Cascioli, Fortepiano

1979年イタリアのトリノ生まれ。ピアノをイモラのピアノ・アカデミーでフランコ・スカラ(カルロ・ゼッキの教え子)に師事。94年ルチアーノ・ベリオ、エリオット・カーター、マウリツィオ・ポリニ、チャールズ・ローゼンが審査員を務めたウンベルト・メケール国際ピアノ・コンクールで優勝。以来ヨーロッパ、北米、日本の主要な音楽都市に演奏の場を広げている。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ボストン交響楽団、カメラータ・ザルツブルグ、シカゴ交響楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、ウィーン交響楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団など著名なオーケストラと共演。またクラウドイオ・アバド、ウラディミール・アシュケナージ、ジョン・ミンフン、ワレリー・ゲルグエフ、ダニエル・ハーディング、リッカルド・ムーティ、ロリン・マゼール、ズービン・メータ、ユーリ・テミルカーノフなど名だたる指揮者との共演は数えきれない。また、ムステイスラフ・ロストロポーヴィチ、ユーリ・バシメット、マキシム・ヴェンゲローフ、フランク・ペーター・ツィマーマン、アルバンベルク弦楽四重奏団、クレメンス・ハーゲン、ザビーネ・マイヤーなども共演。カシオーリは、作曲をトリノのジュゼッペ・ヴェルディ音楽院でアレッサンドロ・ロ・ルイおよびアルベルト・コッラに師事。彼の作品は、いくつかの作曲コンクールで優勝し、重要な会場で演奏されている。

## <2022年その他の日本公演全国スケジュール>

- 12/1(木) 青山音楽記念館パロクザール (問) 青山音楽記念館パロクザール 075-393-0011
- 12/3(土) 北九州市立響ホール (問) 北九州音楽祭事務局 093-663-6567
- 12/4(日) 札幌コンサートホール Kitara (問) Kitaraチケットセンター 011-520-1234
- 12/6(火) 愛知県芸術劇場コンサートホール (問) クラシック名古屋 052-678-5310
- 12/8(木) 住友生命いづみホール (問) いづみホールチケットセンター 06-6944-1188
- 12/10(土) 三原市芸術文化センター ポポロ (問) 三原市芸術文化センター 0848-81-0886

## 特別割引 チケットのお知らせ

ジャパン・アーツびあオンラインチケット及びジャパン・アーツびあコールセンターで受付。横浜公演は神奈川芸術協会でも受付。

- ◎シニア・チケット: 65歳以上の方は\$7,700・A¥6,800にてお求めいただけます。
- ◎学生席¥3,000(A席相当): 9/24(土)一般発売より受付を開始いたします。社会人を除く公演当日25歳までの学生対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場ください。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴いたします。)
- ◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(東京はジャパン・アーツびあコールセンター、横浜は神奈川芸術協会のみで受付。)
- ◎<横浜限定>子供文化芸術支援事業対象公演 18歳以下無料(限定202席) 対象: 公演当日、小学校1年生~18歳以下。申込方法等詳細は神奈川芸術協会ホームページの当公演ページにて、9月以降公開いたします。



今回のコンサートやレコーディングに至る、庄司による「18世紀の音楽についての考察」を是非お読みください。

(次のことからあらかじめご承知の上、チケットをお求めください。①やむを得ない事情により、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全席指定です。指定のお席でご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因となりますのでお断りいたします。⑨他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。⑩公演実施の可否は新型コロナウイルス感染症状況を鑑みて慎重に判断させていただきます。

11月16日 発売

## 庄司紗矢香/ジャンルカ・カシオーリ モーツァルト: ヴァイオリン・ソナタ集

MORZART SONATAS FOR FORTEPIANO AND VIOLIN  
【収録曲】  
ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 第28番 ホ短調 K.304 (300C)  
ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 第35番 ト長調 K.379 (373a)  
ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 第42番 イ長調 K.526  
録音: 2022年5月

【初回限定盤(SA-CD HYBRID仕様)】 UCCG-9213 ¥4,730 (税込)  
【通常盤(UHQCD仕様)】 UCCG-45064 ¥3,300 (税込)

## ベートーヴェン& シベリウス: ヴァイオリン協奏曲

好評発売中

ベートーヴェン:  
ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品61  
シベリウス:  
ヴァイオリン協奏曲 二短調 作品47  
録音: 2017年10月  
UCCG-1811 ¥3,300 (税込)

発売: ユニバーサル ミュージック